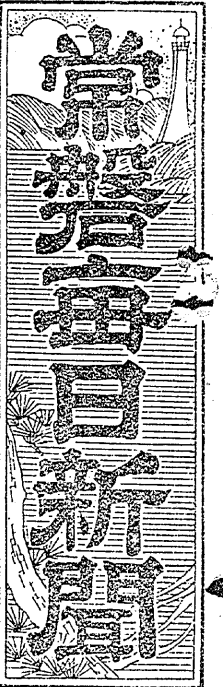


刊夕日九十月二



定価 一冊五錢 一ヶ月五拾五錢 三ヶ月一圓二拾五錢 半年二圓 一年三圓 廣告料五拾五錢 印刷費別 電話 六三〇 郵政省 認可 郵便 第三種 新聞紙類

國家的大試練 (三)

辯護士 門傳清吾

今次の事變に於て、最も著しく國民精神上に發露せる事實は、一に、國家本位の思想、二に、正義の威力三に、國運發展の力を擧ぐべきであらう。何れの時代に於ても、國家本位の思想は、我が日本國民の精神的中心點とする所であるが、今回は四圍の思想的趨勢より察し、特に、國家觀念の覺醒と勃興とを著しく感ずるに至つた。近代思想は動もすれば、社會本位の思想に傾き、甚しきは、國家を輕んじ、國家を無視し、國家を誣ふ如き不心得極まる惡思想に感染せる者があつて、いはゆる思想問題なるものは、其の中心點は、主として、國家を尊重するか尊重せざるかに在る。而かも、今次の事變に於ては、全國々民の間に勃興し來れる國家本位の思想は、眞に偉大なる勢力を示めし、爲めに、不健全の思想は殆んど其の姿を没したるの觀がある。此の機に乗じて、益々國家精神の充實と向上とに努めなければならぬ。政黨者流の如きも、此の際篤くと反省を要し、國家あつての政黨であつて政黨あつ

ての國家にあらざる、國家本位の大局眼に立つて、國家の永遠の大策を樹つるに専心すべきであつて、あさましき黨争は、堅く戒しめなければならぬ。國家本位の信念に立つて、國家の正義を行ふ所に、國民としての本分がある。今日、事實に於いて、我が日本は、世界の列國を相手とし、世界の包圍攻撃を受けたる形があつたが、而かも日本國民の意氣は益々旺盛且つ軒昂であつて、寧ろ列國の態度を以つて生溫しとし、全世界を敵として、悉く之れを粉碎し去る底の熱列の意氣と熱情とを有して居る。斯く世界を相手として、獨り孤軍を守つて、巍然として威容を保ちつゝあるは、即ち正義に據り公道に立つの確信に巍立するに依るものであつて、正義に敵なしと云ひ、自から反みて縮くんば千萬人と雖も吾れ往かんと云ふは、實に此の間の精神氣魄を指すものである。或は政府當局に於いて、自ら卑下し、國家の大權を誤まるの傾向もあつて、此の點は嚴重に監視を要し、叱咤鞭撻を要する所であるが、國民の意氣は、さすがに剛壯更に剛壯を加へて居る。此の國家の大權に基く正義の擁護には、益々其の確保に努め、益々國民の意氣を壯にし、熱情を高からしめなければならぬ。

日本の國運發展の力は、明治以來眞に驚くべきものがあつて、世界有史以來他に比類を求め難い世界的大事實である。今回列國を相手とし、列國の重圍に陥り英米佛の陰謀や壓迫や奸策を受けつゝ、政府當局に於ても、極力國權を保つに努力し、國民の意氣は剛壯更に剛壯を加へ、巍然として、聊かの動搖を示さなかつたことは、正義に據るの確信の力と共に、更に國運發展の力に據るの點を認めなければならぬ。明治以前の日本は、要するに日本の日本であつた。日本の國民は日本の國內に止まり、遠く海外に及ばず、日本のみの日本に勢力限定せる觀があつた。明治に入りて、漸く東洋の日本たる地位に進み日清役の試練を経るに及んで實際の勢力に於いて、東洋の盟主たる實權を握り、隨つて東洋に於ける大責任を負ふに至つた。

文藝募集

■ 産名城磐 ■
らか鹽と節鯉

店理代平命生本日大最優最
榮盛賀志
番三一電目丁四平

器灸温ムウチラ

醫學博士 名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

志賀齒科醫院
福島縣平町五ノ廿八

代理治療部
福島縣平町白銀町九
産婆 關口悦子

定價表

金拾參圓	藥及特効サツ五週間分付
金拾圓	藥上製桐箱入一揃

配達敏速

今年是不景氣

サルの年

第一時計より

常に商品の確實と流行の粹は時代のスタイルを切つて顧客本位を生命として各店様の御來店をお待ちして居ります

御注文及び修理は
電話一九五番へ

鐵道省御用

金 光 堂

各國時計類
貴金屬眼鏡
蓄音機各種
及レコード
懐中電燈

平五(釜屋向ひ)
電話一九五番

炭石 スター

(良い品を安く賣る店)

電二三七番

阿部石炭商店

まあ!
よく、此の品が
こんなに。お安く
頂けますこと
わたし
お隣ひもりへ
お奨め
しませうかしら

花柳科 専門

木村外科醫院

入院自炊の便あり

平町五丁目橋際
電話三〇九番

冬の通學服

當店特製の黒小倉通學服を豊富に取揃へて御座います。

長ズボン付

小學生用.....●85錢
同(特製品).....●190錢
中學生用.....●280錢

ふかや洋服店 平三 電203

愈よげふを限りに

一進一退の白兵戦

各派の豫想獲票

果して榮冠は何人の頭上に

泣いても笑つてもいふ一日
激戦地第三區は物凄く緊張
を來し各派とも自派地盤の
統制防禦に

躍起となつて居るが

今各派の豫想獲票を聞くに
先づ比佐派は前回と異なり
野黨にある事として幾分不利
な立場ではあるが前回の歴
倒的獲票二萬票に徴し二割

の減額を見ても二萬六千票
は動かずと見られ氏家派ま
た

相双を殆んど獨占し

夫れに石城より千票内外を
加へ是れ又一萬六七千票を
下らず當選圈内に這入つて
居り一方佐藤派は相双より
八千票を集め石城より七千
を加する

形勢と觀取し安全な

るもの、如く鈴木派は最初
から苦戦を傳へられ必死の
努力を注いだ結果石城を一
萬二三千と見て相双より一
千票を加ふれば當選の境に
突入し得と觀測しつゝあり
何れにもせよ

内務省の觀測に依れ

ば氏家氏最も安全にて比佐
鈴木、佐藤の三氏中二氏當
選と目されて居るから最後
迄一進一退の大接戦を演

立會人

夫々決定

明後日の平、植田、小川の
三開票所に於ける各候補者
の立會人は左の如くである

鈴木派 千葉彦治
植田 山崎登
小川 柴崎佐吉

比佐派 吉田寅之助
植田 石川徳治
小川 草野三郎

佐藤派 馬目雄次郎
植田 飯塚榮治
小川 鈴木勇

有権者

各位にと

伏見町長談

總選挙も愈々明日と迫りま
した此際有権者諸君に特に
望みたきことは棄権をなさ
ぬことであり申す迄も
なく選挙権は貴重なる権利
であつて之を行使するは又
國民の大なる義務でありま
す、本町從來の棄権率を見
ると普通第一回の昭和三年

九分通りは

怪し氣な兒童求人

紹介所が頭を悩ます矢先

松坂屋から申込み

平職業紹介所へ大都市の會
社や商店から見事な印刷物
を以つて就職希望兒童に對
する求人申込みが相當ある
ので同所では東京大阪市立
の職業紹介所と聯絡を取り
その内容調査をしてゐるが
九分通りは怪しげな商店會
社が多い爲め紹介所でも可
成り頭を悩めて居るが昨日
百貨店として全國的な東京
松坂屋呉服店より小學校の
本年度卒業生二百名の店員
見習斡旋方を申込みた爲
直ちに郡下の聯絡小學校は
勿論大々的に各小學校へ通
牒を發したが松坂屋以外に

小川村の

養蠶盛ん

極力奨励した結果

非常な發展

石城郡上下小川村農會では
農家不況の對策として盛ん
に養蠶業の奨励をなすつゝ
あつた結果昨年半迄に養蠶
戸數が兩部落内に百餘に過
ぎなかつたものが最近の調

縣下産業組合

大會を平町に

開催する計劃

産業組合石城郡會では四月
中旬頃昭和博の開催を好機
とし平町に於いて縣下産業
組合大會を開催する計劃で
あるが是れが具体案に關し
來る廿八日午前十時より團
体事務所樓上に濱三郡の各
産業組合幹部を招集し協議
會を行ふと

麥の追肥を

遅らすなと

仲長防止對策

石城郡農會では昨今の暖氣
により麥作の悪影響を防ぐ
ため種々對策を考究中であ
るが、現在郡下の麥作は例
年よりも四、五寸伸長して
居り今後寒氣の到來した場
合を憂慮されて居るが橋本
技手の談に依るに「踏みつ
け等の方法が幾分遅れ氣味
で居るから追肥を遅らせぬ
様にするよりない」との事
にて今年の如き暖氣の場合
の肥料としては仲長を促す
窒素肥料は絶対に禁物であ
つて磷酸或は加里の追肥に
より目下弱く成長して居る
麥を麥氣にも耐える強健な
麥となへべきであると

六反を算し昨今では同村の
主要生産物たる木炭同様村
民の生活を左右する程迄に
發展しつゝあると

平町人專

回出 生

- △堤ノ内二五 當時西白河
- 郡白河町堀切山本重太郎
- 氏次女園子
- △田町三二 清野延由代長
- 女鶴子
- △六間門一九 當時内郷村
- 大字宮字金坂五十嵐藤吉
- 氏二女サト子

鈴木辰三郎氏

ヲ推薦ス

理想的新人

謹啓 目下時局多事多難ノ
秋、人物本位ヲ第一義トセバ
新進氣鋭ニシテ手腕力量ノ
士、即チ眞ニ「出シテ出シ甲
斐アル」全氏ヨソ國家ノ選良
ト存候、就テハ是非貴下ノ尊
キ一票ヲ全氏ノ爲メ御投票
被下度懇囑奉リ候 草々敬具

昭和七年二月十八日

福島縣石城郡平町橋本小路三〇

阿部政右衛門

第三區有権者各位

小説 七五郎

(百五十六)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

未亡人の秘密 (6)

花子は警戒の態度になつて嘲けるやうな薄笑をこぼした、彼は高びしやに『女の方より外に交際して居る者はないと被仰いましたね、するとつい先刻お宅を一緒に出ていつたあの男は、あれは何です、え、何處の誰です』

大上段に真向から斬込んだ『え、ッ』

花子はどきつとした様子だつたが、ひらりと身をかはして。

『あゝ、あの方ですか、あれは何でも有りやしません、私のハスパンドですよ、え、良人ですもの』

『へー貴女の良人』

いさなり狼狽に突落されたやうに目をきよつつかせて、少頃は闇のなかを盲探りに徘徊するやうにまごまごしてから。

『如何いふ方です、貴女の夫は』

すかさず

『あら貴君は、私の良人の素行調査まで爲さるんですか、人に聞かれて私の亭主はこれ、こゝろいふ男ですと説明する、そんな半間な妻君もないぢやありませんか』

『それは然うですけれども……何といふお名前です』

『マスター、オブ、フロイ』

『その學位を持つて居る座光寺基熙、米國から歸つて来たばかりよ』

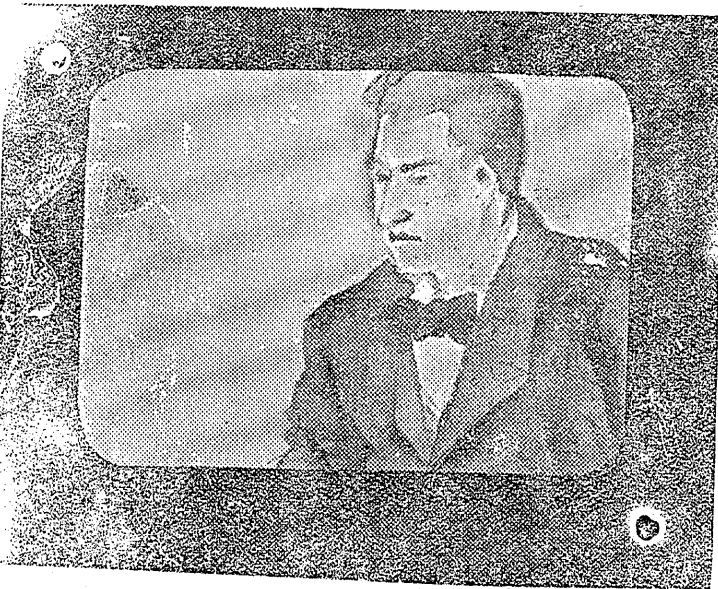
『へえー、座光寺さん、奥さんと一緒にどちらへ……』

頂戴よ、面談はお断りします、春や、お歸りだよッ』

さんく、翻弄されて、高野は顔を赤らめながら、あたまたと表へ飛出した。そりや、あいつは曲者だ食へる奴ぢやないと呟いた。

ホテルを調べれば眞偽は分るけれど、何といふホテルかそれも確めなかつた忌々しいと、もしやくしやしした頭腦の熱りを夜風に吹かせながら來るともなく伊勢佐木町へ入つた。

一時でも郁子のことを忘れて此の悶へから遁れたいと思ふ心は、彼を賑かな灯



……』

『外國の貴族夫人がホテルに來てゐるから、それに紹介しようとして、お連れしたの』

なほくどくも突込んで『ホテルへ……は、ア、然うですか、その貴族は』

うるさいね、早く歸て

町の中心に誘つて噪かしい樂隊のコーラスを渦巻かせてゐる。

活動常設館へ追ひ入れた薄暗の濁つた人いされのなかに蹲まつた彼の目は轉々としていろんな場面を繰回す幕の上に忙しく動いた。長尺物の收章劇が濟んだ

後に、會社の特製品だと銘うつた新派物の『紅繪』といふ映畫が上つた。

最初にいろんな俳優がお目見得に出た、頓て三番目に北村信太郎といふ立役の燕尾服姿が映つた時に、ふツと立揚つた彼は、全身が麻れるやうな異常な感覚を起して愕然と目を睜つた。

それが郁子……のあの怪しい男の正體と寸分違はぬ面貌ではないか、彼れはこれを凝視して茫然自失の余りいかにとも詮なく、今は寧ろ夢であれかしと。

× × ×

十文字屋破産後の跡始末はどうなつたのであるか、清算人の辻村治右衛門からまだ何の發表もなかつたので、それに直接關係のない親戚などは誰も成り行きを知る者がなかつた。

内小兒科 花柳病科
藤沼 院 醫
入院應需

平電 五七〇番
町屋紺

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める

川崎巡 回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

外科 X 光線科
外科 性病科
科 科

平町田町
安齊外科醫院
電話四七五番

入院隨意

りん病 永らく悩む人の福音

天下の名湯別府温泉で出來た無効返金責任藥

岩別府温泉

全國知名新聞 朝日、東京日々、大阪毎日、富士、雜誌 推獎 講談俱樂部、主婦之友廣告乞御參照

古は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし慢性淋病、こしけ、濁濁の病みは不思議に止り連服するも絶對胃腸障害なき各藥であります。

尚ほ此の藥は責任速効藥で二日以内服して効なき時は殘藥引換に全部異議なく返金します。

論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢性、悪性の人は七日以上服差して下さい。

美本淋病治療書無代進呈(此の新聞各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送藥す)

代金引換廿三錢手数料金納の事

藥價 急性用(黒箱) 一週分 參圓
慢性用(赤箱) 一週分 五圓

特約一 手販賣 **阿康藥舖**
平町古鍛冶町一〇
縣社ノ下(電話四四番)

大塚の 學生靴!!!

耐久新製品

編上靴 六〇〇
半靴 五〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

大塚支店製靴部
電話七七番

貸切は……

セダン揃ひで 貸切専門の 昭和タクシーへ

電話 三三四三

淋病 梅毒

淋病 皮膚病 婦人病
腸虫病 十二指

門專 院醫科 村松
腸病 胃性 町南平
〇七一話電